

KAGAWA アンバサダーからのお便り ～内藤洋さん～

現在、私はカナダ西海岸に位置するバンクーバーに拠点を置き、カナダ・アメリカを中心に世界の様々な地で自然や動物の写真撮影を行っています。名前の洋から来るのでしょうか、世界各地の海を見るのが好きで、南極半島へ2回、カナダ北極海を含む北極圏へも9回撮影に行きました。

カナダの国土面積は、日本の27倍ほどあり、世界第二位の大きさを誇ります。西海岸から東海岸まで、国内の時差は4時間半あり、時差だけを見ても広大な大地が広がっていることが分かります。人口は3750万人ほどで、アメリカ国境から北へ160キロ以内に人口の90%以上の人暮らししていると言われています。

カナダには人口の少ない広大な大地が広がっており、豊かな自然と多くの種類の動物達が生息しています。

バンクーバーの市街地でも、動物達の姿を目にすることがあります。

実際、私の住んでいる家の裏庭でも、今までにクロクマ、コヨーテ、リス、ハクトウワシ、シカ、ラクーンなどが見られ、撮影をしたことがあります。

近くの海岸遊歩道では、カワウソやアザラシ、ミンクを見ることも時折あります。

カナダの観光地としては、ナイアガラの滝やロッキー山脈、メープル街道などが有名ですが、都市としましては、トロント、モントリオール、バンクーバーなどが上げられます。

私の私見ですが、カナダで最も素晴らしく美しいのは、その広大な大自然、特に西海岸バンクーバーからアラスカにかけての海岸線は、世界で最も美しい海岸線の一つに数えられると思います。太平洋に注ぎ込む、大小無数の川には季節になると、たくさんのサケが産卵のため遡上します。その頃にはクロクマやヒグマは山を下りて、川でサケを捕獲し、やがて迎える冬に備えて、一気に栄養をとります。オオカミは普通、陸上動物を捕食すると考えられがちですが、サケのシーズンになると、西海岸では彼たちも川に入りサケを捕獲します。海には、シーズンになると多くのシャチやコククジラ、ミンククジラ等の回遊が見られ、特にザトウクジラは夏の間、西海岸には約5000頭のクジラが生息するといわれています。アラスカに入りますと、フィヨルドの入り組んだ海域には、氷河が流れ込み、春先には沢山のアザラシが浮いている氷の上でお産をします。

日本には極めて類稀な素晴らしい自然が存在していますが、カナダにはまた違った大自然が広

がっています。日本では見られない、空や大地そして海、そこに暮らす動物を撮影しながら、いつも思うのは、私の原点は香川の海であり、瀬戸内海であることに気づかされます。香川の皆様におかれましても、もし機会があるようでしたら、ぜひカナダの自然も経験していただきたいものだと思います。

今までに、香川県では3回の写真展を行ってきました。旅をしながら私の目に映った自然の世界を、香川県の皆さまとまた近い将来共有できることを楽しみにしています。



スピリット・ベアー



ザトウクジラ・ブリーチ



ベニザケ



内藤 洋（ないとう ひろみ）さん

写真家。カナダ・バンクーバー在住。多度津町出身。自然や動物の写真をメインに撮影する写真家。北アメリカ横断、南北アメリカ縦断の写真撮影の旅を行った経験もある。また、講演会やラジオ出演を通して、県内でも自身の経験を伝えている。

<個人ホームページ>

<http://hirominaito-photo.jp/index.html>

◇ KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。